

自然・人・産業の和で築く
安心のまち

市町村
紹介コーナー

南魚沼市 [中越エリア]

南魚沼市は、新潟県南部の魚沼盆地に位置します。
中央部を南北に魚野川が流れ、西に魚沼丘陵、
東に越後山脈がそびえ立っています。
魚野川と山々との間に、田園が広がる自然豊かな地域です。
日本有数の豪雪地帯であることから市内には7つのスキー場があり、
温泉や自然体験など、様々な魅力をあわせもつ観光地として人気があります。

NIIGATA CONSTRUCTION TECHNOLOGY CENTER

新潟県 建設技術 センターだより

2026 夏号 Summer

CONTENTS

■特集

- 02 市町村紹介コーナー 南魚沼市
- 04 発注者支援事業紹介

■センターINDEX

- 05 市町村道路施設総点検支援業務の紹介
次期土木積算システムについてのお知らせ
- 06 建設材料試験の豆知識
- 07 雪のことば・雪のこころ
- 08 新潟の道の駅巡り 道の駅南魚沼
編集後記



一般財団法人

新潟県建設技術センター

<https://www.niigata-ctc.or.jp/>

〒950-1101 新潟市西区山田2522-18 TEL.025-267-4804 FAX.025-267-4854



南魚沼市

Minamiuonuma

南魚沼市のプロフィール

面積／584.55km²

人口／51,129人(令和8年5月末現在)

世帯数／20,384世帯(同上)

<https://www.city.minamiuonuma.niigata.jp/>

南魚沼市のまちづくり

全国的に高い評価を受けている南魚沼産コシヒカリを中心とした農業の振興や、起業への支援と優良企業の誘致を進め、若者が定住し安心して働けるまちづくりを行い、多世代がいきいきと暮らし活躍できるまちづくりをめざしています。



南魚沼市の特産品

南魚沼産 コシヒカリ

越後三山をはじめとする山々から流れる清らかな雪解け水が育むお米です。



南魚沼市の四季

春



各所で桜が咲きます。夜にライトアップをする観桜会をはじめ、数々の花見スポットがあります。

夏



5月中に田植えを終え、夏には市内一帯が鮮やかな緑色に染まります。

秋



稲の収穫を終えると、11月から徐々に紅葉が始まり、山々が赤や黄色に色づきます。

冬



雪が積もると市内は白銀の世界となり、ウィンタースポーツが盛んになります。

主なイベント

7月



南魚沼市兼続公まつり

9月



南魚沼グルメライド

3月



越後浦佐毘沙門堂裸押合大祭



(国)353号 防安国土強靱化(雪寒)スノーシェルター上部工 工事

工事概要

一般国道353号は、第2次緊急輸送道路に指定されており、南魚沼地域と十日町地域を結ぶ重要な路線です。また、当該地域は特別豪雪地帯に指定されており、冬期における雪崩や吹雪等の被害を防止する施設の整備が進められています。本工事は、一般国道353号の南魚沼市上野地内において、スノーシェルター上部工を架設する工事です。

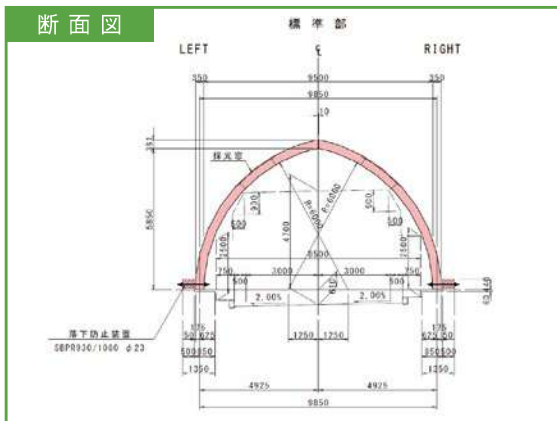
工事内容

- 工事名 / 令和6年度 強靱雪寒 第1201-00-01-01号
(国)353号 防安国土強靱化(雪寒)
スノーシェルター上部工 工事
- 工期 / 令和6年9月～令和7年8月
- 発注者 / 新潟県南魚沼地域振興局 地域整備部
- 工事内容 / (実)延長:16.5m
上部工:1式
(PCスノーシェルター上部工 L=16.5m)

位置図



断面図



立会状況



架設状況



竣工



管理技術者 から一言

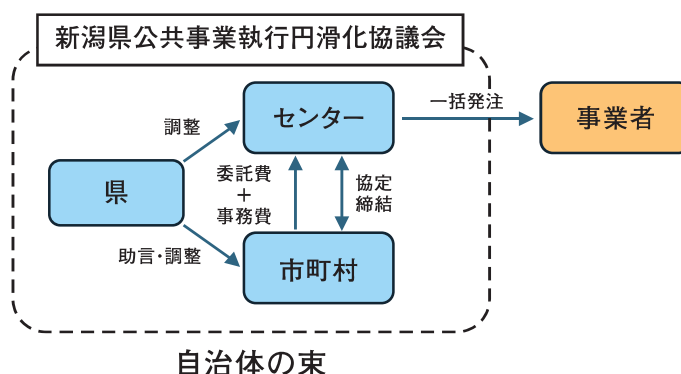
管理技術者 土田 純

本工事は、工場で製作された上部工ブロックを現場へ搬入・架設し、横締めおよびパラペットの後打ちを行うものでした。重要度の高い構造物であることから、施工管理補助業務においては、横締めの緊張管理およびコンクリート打設時の品質管理が適切に実施されているかを特に留意し、立会を行いました。スノーシェルターという豪雪地帯特有の構造物を施工する工事に携わることができ、非常に貴重な経験となりました。

今後も発注者支援業務を通じて、地域社会の発展および安全の確保に貢献してまいります。

市町村道路施設総点検支援業務の紹介

各種道路施設の適切な維持管理を行っていくために、県・市町村・センターの連携により、地域インフラ群再生戦略マネジメント(群マネ)として点検・診断業務の一括発注を実施しています。



「第1次国土強靱化実施中期計画」の目標が示され、道路施設の維持管理担当者には「マンパワー不足」や「財源の確保」などの課題が予想されます。ぜひ当センターにご相談ください。

【プロセスを束ねて業務の効率化】

点検業務+補修設計により期待できる効果

- ・補修工法の選定やコスト縮減
- ・新技術等の活用検討・提案
- ・施工計画、概算工事費算出
- ・突発的・緊急的な事象への迅速な対応

【コスト削減による財源確保】

タブレット点検によるコストの削減

- ・小規模橋梁を対象にタブレット点検でコスト削減
- ・点検範囲や委託先、人材育成に関するアドバイス

第1次国土強靱化実施中期計画

目標	R12年度
効率的・効果的なインフラメンテナンスの取組を行っている地方公共団体の割合(群マネ)	100%
国および地方公共団体が管理する道路における緊急または早期に対策を講ずべき橋梁の修繕措置(完了)率	80%

当センターでは、県や長岡工業高等専門学校との協力のもと、タブレットによる小規模橋梁点検に対する相談に応えられる体制づくりを整えています。お気軽にご相談ください。

次期土木積算システムについてのお知らせ

新潟県および市町村の土木積算システムは、現行の積算システムのサービス終了に伴いR9年度より次期土木積算システムへ移行します(R8年5月にプロポーザル審査委員会が実施され、現在システム構築中)。市町村の公共事業発注業務への確かな支援を行うため、当センターはシステム構築面・運用面などあらゆる面で市町村のサポートを行っています。

企画調査部 ▶ TEL.025-267-4820

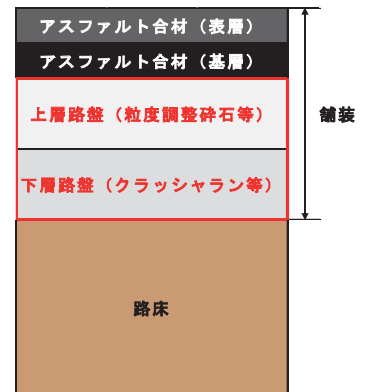
建設材料試験の豆知識



【当センターで実施している数ある試験項目の中から、今回は『修正CBR』をピックアップしてご紹介します】

修正CBRとは

- ・現場で使用する上層路盤や下層路盤材料の支持力の指標となる値です。
- ・材料を締固め試験(JIS A 1210)で求めた最適含水比に調整して試験を行います。
- ・「アスファルト舗装工事共通仕様書解説」では、特に指示されない限り、最大乾燥密度の95%におけるCBR値を「修正CBR」としています。



アスファルト舗装の断面構成

修正CBR試験

【最適含水比の測定】

- ・突固めによる土の締固め試験(JIS A 1210)により最適含水比を求めます。
- (37.5mmふるいを通した試料を内径150mmモールドへ3層に分けて投入し、質量4.5kgのランマーを高さ45cmから各層92回自由落下させて突固めます)

【修正CBR用の供試体作製】

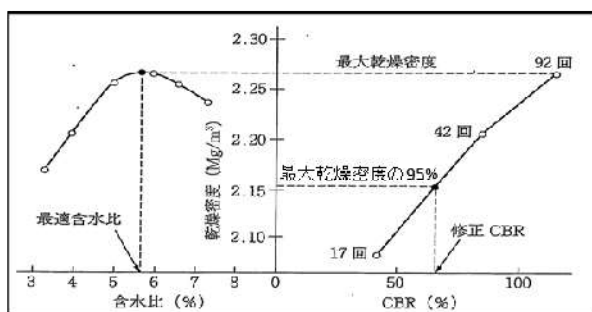
- ・37.5mmふるいを通した試料を最適含水比の±1%に含水比調整します。
- ・締固め回数を変え(17回、42回、92回)3種類の供試体を作製します。

【吸水膨張試験・貫入試験】

- ・供試体を水槽で96時間水浸させ、吸水による膨張量測定後に貫入試験を実施します。
- ・締固め曲線とCBR値のグラフから、最大乾燥密度の95%の締固め度に対応するCBR値を求め、「修正CBR」とします。



貫入試験機



地盤材料試験の方法と解説(公社:地盤工学会)より抜粋

修正CBRの規格 (新潟県)

材料	修正CBR (%)
クラッシュラン	20以上
RC-40	30以上
ARC-40	40以上
粒度調整碎石	80以上

路盤材料

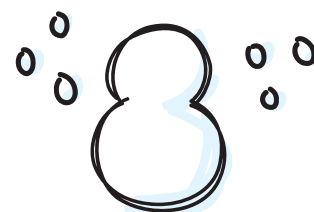
再生クラッシュラン(RC-40)



アスファルト再生クラッシュラン(ARC-40)



雪のことは・雪のころ



今年の大雪(その2)

新潟県では、とくに上・中越地方の平野部で大雪となりました。ここでは、前号に引き続き大雪の被害状況について紹介いたします。

長岡市内では大雪のため、融雪装置では融け切らず多くの雪が道路に残り、排雪も一時遅れる事態となりました。



図1 消パイだけでは融け切らず。排雪作業も優先順位付け(長岡市)

雪国総合研究機構(仮)設立準備室長 上石 勲

また、一気に雪が積もったため、雪下ろしが間に合わず、建物やアーケードの倒壊が発生しました。



図2 雪下ろしの手が不足して雪が多く積もったまま(長岡市)



図3 大雪による建物倒壊

2月の中旬には降雪はひと段落し、山間部でも排雪作業が綿密に行われました。



図4 排雪の進む道路(十日町市)

昨冬は2月中旬以降の降雪が少なく、大雪の印象が薄れていますが、2月初めまでの大雪の状況と教訓を残すことも重要かと思えます。

新潟の道の駅巡り

vol.06

道の駅南魚沼

南魚沼市にある、「道の駅南魚沼」は、食・美術・自然を楽しめる観光交流拠点です。直売所「四季味わい館」、食事処「たっぽ家」、美術館「今泉記念館」、遊具のある「憩いの広場」で構成されています。

国道17号沿いに位置し、背後に迫る霊峰・八海山や巻機山などの美しい山々を施設内から一望できます。

最大の魅力は、日本一との呼び声高い「南魚沼産コシヒカリ」を堪能できる点です。食事処「たっぽ家」では、かまど炊きのご飯や郷土料理「ぎりざい丼」を味わえます。また、直売所「四季味わい館」には、毎朝地元農家から届く新鮮な旬の野菜や、お米、地酒などの特産品が豊富に並びます。

さらに、世界的な版画家・棟方志功の作品を常設展示する「今泉記念館」や、子どもたちがのびのびと遊べる遊具を備えた広大な「憩いの広場」も併設されています。ドライブの休憩はもちろん、雪国の豊かな食文化と芸術に触れる目的地としてもおすすめのスポットです。



四季味わい館

JAみなみ魚沼が運営する農産物・特産品の直売所。特産のコシヒカリや新鮮な旬の地元野菜のほか、おにぎりや米粉パンなど美味しいものがたくさん集まります。



今泉記念館

道の駅に併設された今泉記念館は、本格的な美術品や郷土資料、民族文化に触れられる美術館・観光交流施設です。2階は美術館、1階は観光案内所・診療所も併設しており、1階で販売している南魚沼名水コーヒーは人気商品の一つです。



道の駅南魚沼

〒949-6363

新潟県南魚沼市下一日市855

TEL.025-783-4500

たっぽ家

南魚沼産コシヒカリを主役に据えた食事処。おそばのほか、ソフトクリームは地元の「魚沼牛乳」を100%使用した濃厚でまろやかな味わいが特徴です。

編集後記

眩しい太陽の光とともに本格的な夏の到来を感じる季節となりました。今回の夏号では南魚沼市様からのご寄稿や道の駅南魚沼様の特集などを掲載させていただきました。ご協力いただきました皆様に心より感謝申し上げます。

今後もセンターだよりでは、当センターの活動内容や地域の魅力あふれる情報を発信してまいります。次号も、どうぞ楽しみにお待ちください。今後とも変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。編集委員 企画調査部 榎田 瑞希

